

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.23	
課名	都市政策課	
グループ名	都市政策グループ	
記入者名		

1 事業概要									
(1)事業名	小川町駅北側整備事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	一般事業				
(4)第5次総合振興計画での位置づけ		(5)予算・財源等の別							
①基本目標	安全で住みよいまちく都市基盤の充実		①会計区分	一般会計					
②大項目	道路・交通		②財源区分	町単独					
③中項目	駅周辺整備・鉄道輸送の充実		③予算科目	款	8	項	3	目	2
④施策	駅周辺の整備		④予算事業名	小川町駅北側整備事業費					
⑤施策コード	3.5.3.1	掲載ページ	57	ページ					
(6)実施根拠		(7)総合戦略							
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務		①総合戦略	一般会計					
②根拠法令・条例等			(該当事業名)	無					
③事業期間	開始	不明	年	月から	終了	未定	年	月まで	
2 事業の目的・内容等									
(1)目的(何のために行うか)		(2)内容(どのような取り組みか)							
駅南北の連絡通路を整備することにより、小川町駅利用者の利便性及び安全性の向上を図るとともに、市街地再生の促進、交通渋滞の緩和を図る。		<ul style="list-style-type: none"> ●小川町駅前(北側)広場整備(面積 約1,400m²) ●南北自由通路 ●小川高校南側の町道拡幅改良工事 							
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)		(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)							
全町民		事業を推進することにより、駅利用者の利便性及び安全性の向上が図られる。また、交通量が分散され、既存の駅前広場の渋滞の解消につながる。							
対象数	27,290	単位	人						
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)									
駅北側の未利用地の有効活用により、北側駅前広場及び南北自由通路ができるうことにより、既存の南側駅前広場の混雑が解消する。									
また、利便性の高い環境や未利用地の有効活用により、暮らしの中心となる複合型土地利用を形成していく必要がある。									
(6)SDGsへの貢献									
3 事業のコスト(実績・決算・予算)		(単位:千円)							
(1)事業(内容)名称		小川町駅北側整備事業費							
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算			
(2)事業費	直接事業費合計	0	0	0	0	0			
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	県支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他特定財源	0	0	0	0	0			
	一般財源	0	0	0	0	0			
	合計	0	0	0	0	0			
(4)補助金名									
(5)人件費									
投入職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3				
年間人件費	2,288	2,263	2,256	2,332	2,410				
(6)総事業費	2,288	2,263	2,256	2,332	2,410				
サービス量(回)	6,657	7,424	7,759	7,875	7,875				
サービス単価	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3				
(単位)	千円／駅利用者1回あたり								

4 指標の検証		小川町駅北側整備事業費			
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)					
指標名	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)					
指標名	小川町駅1日あたり乗降客数(人) * 東武鉄道(総振目標指標p58) R7年度目標値 11,400人	目標値 人	11,400	11,400	11,400
	実績値 人	7,875	7,831		
	達成率 %	69.1	68.7		
	目標値				
	実績値				
	達成率				
(3)その他指標に現れない成果					
5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(財源、用地等、大きな課題があるため、慎重に検討し、進める必要がある。)
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(財源、用地等、大きな課題があるため、慎重に検討し、進める必要がある。)
進捗度	事業の進捗	3	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	3	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他(財源、用地等、大きな課題があるため、慎重に検討し、進める必要がある。)
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)					
小川町駅北側整備は、財源及び用地の確保が特に大きな課題となっている。 財源については、町の財政状況を鑑み、国の交付金等の活用ができるか、用地については、小川高校、県教育局、鉄道事業者等の関係機関との協議を丁寧に進める必要がある。 また、県立高校再編の動向にも注視する必要があり、これらの点を踏まえ、慎重に進めて行く。					
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	評価	評価についての説明			
(1)一次評価 (担当課長)					
(2)二次評価 (政策推進課長)					
(3)最終評価 (町長)	2 現状維持	財源等に課題があるため、本事業の実施について継続して検討する。			